

PISA の学習到達度調査から日本の高校生が理科や数学の「学びがい」について国際的に低いという結果が出ている。学校教育においては、時代の変化に力強く、かつ柔軟に対応し、主体的に生きることができる自立した社会人、職業人の育成を図ることが求められている。

勤労観や職業観の意識が低い児童・生徒が多い実態に加え、人間関係が上手くつくれず悩んでいる生徒も見られる。このような状況から、望ましい勤労観や職業観を身につけるキャリア教育を、早い時期から推進することは重要な課題である。そのため、将来の就きたい仕事や将来の自分のために学習する意欲を高め、キャリア教育を充実させる必要がある。

各校では、進路指導に係る職業調べ、職業体験など体験的な活動を積極的に取り入れている。本進路指導部会では、各地区の地域の実態をもとに行った様々なキャリア教育の実践を知ると共に、キャリア教育の意義や効果的な進め方等を互いの実践から学びあう研修をおこなう。以上の取組を通し、子どもたちを育てると同時に教師の指導力も高めることが本研究部会のねらいである。

研究テーマ

一人ひとりにあった生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか
～授業実践を通して～

研究経過と予定

研究日	研究内容
5 / 10	・組織, テーマの検討
5 / 24	・春季教育研究会報告, 年間指導計画, 研究内容について
6 / 14	・各校の実践報告
7 / 31 夏季学習会	・山梨高等学校教諭を招いて高校での進路教育, 高校入試等に関し意見交換 ・各校の実践報告 ・統一授業研究会指導案検討
8 / 30 統一授業研究会	・研究授業「生活科におけるキャリア教育の授業実践」 小林淳子教諭 (祝小) ・各校の実践報告
9 / 20 秋季教育研究会	・各校の実践報告 ・県教育研究会についての確認
10 / 28・29	・県教育研究会参加
11 / 29	・県教育研究会報告
1 / 10	・統一授業研究会指導案検討
2 / 7 統一授業研究会	・研究授業 古屋友香教諭 (松里中)
2 / 15 冬季教育研究会	・1年間の研究の総括

研究部会員

指導助言者：丹澤千明（東雲小校長） 鶴田一路（山梨南中教頭）

部長：古屋浩紀（山梨北中） 副部長：小林直子（山梨北中） 辻純二（勝沼中）

部員：小林淳子（祝小） 依田久幸， 古屋友香（松里中） 三枝比出夫（塩山北中）

小林誠治（塩山中） 筒井弘（大和中） 矢澤恵美子（山梨南中） 武井善史（笛川中）

生活科におけるキャリア教育の授業実践

甲州市立祝小学校 小林 淳子

授業のポイント

「身近な人（保護者）の仕事」について知ったことで、新たに考えたことや思ったことなどをクラスの児童に伝え、友だちの話（仕事の情報）に興味関心を持つことを目的とする。

1. 単元名 発見！町へとびだそう（日本文教出版2年）
小単元名 身近な人（保護者）の仕事
2. 小単元の目標 ①身近な人（保護者）の仕事を見学・取材し調べて知ることができる。
②見学・取材をして考えたこと思ったことなどを、クラスの児童に伝えることができる。また、友だちの保護者の仕事の様子を聞き、興味関心をもつことができる。
3. 小単元の総学習時間 5時間

4. 児童の実態

男子8名、女子11名、計19名の学年である。素直で学習意欲は高く、真面目に当番活動や係活動なども取り組む。愛校作業や学級の畑の草取りも、よくおこなう。

1年生の時、小単元「家族のこと調べたよ」で、家庭における家族の仕事を調べ、家族の一員として自分がすべきことを考えて、仕事をおこなうという学習をした。家計を担う仕事については未学習である。

身近な人（保護者）の仕事についてどんなことをしているのかは、知っている。過去に保護者が児童を現場に連れていき、職場を見せてもらった経験のある児童は、9名いた。保護者が農業をされており、畑で家の仕事をしたことのある児童もいる。

夏季休業中、多くの家庭で現場の見学（取材）をさせて下さった。見学不可の場合は、家庭で話をして下さった。勤務先へのお願い文書の要請は、なかった。

【キャリア教育の視点から】（本校キャリア教育全体計画を元に）

〈人間関係形成能力・社会形成能力〉

本校で、あいさつや返事をするを重点的に指導している。自分からあいさつをすることのできる児童もいるが、小さな声の児童もいる。

お世話になった人などに感謝するとりくみをする、喜んで取り組む。

自分の考えをみんなの前で話すことは、教育活動全体でおこなうようにしている。全員話すことができるが、積極性には差があるので、指導を続けている。

〈自己理解・自己管理能力〉

自分の好きなことや嫌なことを多くの児童がはっきり言うことができるが、恥ずかしか

ったり適切な言葉を見つけられなかったりして、適切な表現方法を取ることが難しい児童もいる。事あるごとに、黙ってないで自分の考えを伝えるように声をかけたり、適切な言葉を教え真似して言わせたりするようにしている。

多くの児童が自分のことは自分でおこなうことができるが、支援を必要とする児童もいるので、少しずつできることを増やしていきたい。

〈課題対応能力〉

本単元を通じて、自分の保護者・友だちの保護者など身近で働く人々の様子が分かり、興味関心を持つことができるようにしたい。

作業の準備や片付けを多くの児童がおこなうことができる。何をすればよいのかわからないと何もしない児童もいるが、指示を出すと一生懸命に取り組む。

決められた時間やきまりを守ろうとするが、自分のやりたいことに夢中になると、決まりを忘れることが多々あるので、指導を続けている。

〈キャリアプランニング能力〉

係や当番の活動にとりくみ、それらの大切さを分かっている。割り当てられた仕事・役割の必要性を分かっている。しかし、仕事を忘れてしまうこともある。指導者が指摘すると、仕事を思い出し素直に動くことができる。

保護者の仕事の大切さ・必要性について、2年生なりにわかるようにさせたい。

5. 指導と評価の計画

※評価の観点 a 関心・意欲・態度 b 活動や体験についての思考・表現
c 身近な環境や自分自身についての気づき

時間	学習項目 内容	評価規準	評価の観点			評価方法	キャリア教育の視点での児童が身につける能力
			a	b	c		
1 (0.5) 1学期	オリエンテーション	グループごとの探検で知った仕事を思い出し、身近な人(保護者)の仕事について興味を持つ。	○			ワークシート 観察	「キャリアプランニング能力」
2 夏休み	見学・取材をおこなう	自分で考えた質問をして、答えを知り、聞いた話や見つけたことを、カードに書いている。			○	ワークシート	「人間関係形成能力・社会形成能力」
3 8/28	考えや思いを書く	見学・取材したことを元に、〈ここにのこったこと・思ったこと・がんばっていたよ〉〈気づいたこと・わかったこと・はじめて知ったこと〉〈もっと知りたいこと〉〈こんなところがすごいよ・じまんだよ〉を書いている。			○	ワークシート 観察	「自己理解・自己管理能力」
4 (0.5)	発表練習をする。	発表の仕方に気をつけて、発表練習をしている。		○			「自己理解・自己管理能力」

8/29						
5 本時 8/30	考えや思いを 発表する。	考えや思いを 発表している。	○		○	ワークシ ート 「自己理解・ 自己管理能力」 「キャリアブ ランニング能 力」
6 9/5	考えや思い を広げる。	友だちの考えや 思いを聞き、 感想を言ったり 質問をしたり して、考えや 思いを広げて いる。				

6. 本時の授業

(1) 日時 平成29年8月30日(水) 14:00～

(2) 場所 祝小学校2年教室

(3) 本時の目標

考えや思いを発表し、友だちの考えや思いを聞き感想を言ったり質問をしたりして、考えや思いを広げることができる。

(4) 展開

	学習活動・引き出した子どもの反応	教師の働きかけ・支援(・) ・評価(☆)
問 題 提示 5分	1. 本時の目標をつかむ。	・目標を理解させる。
問 い の 共 有 5分	2. 発表したり発表を聞いたりするために気をつける ことを確認する。 ・3の声(みんなに聞こえる声)で発表する。 ・大切なことを落とさないように聞く。	・1学期の学習(「みんなに 聞こえる声で話す」「大切 なことを落とさないように 聞く)」を生かすようにさ せる。
価 値 の 共 有 ・ 集 団 解決 25分	3. 発表をしたり、発表を聞いたりする。 ・発表を聞いて、自分と同じ内容があれば、○をつけ る。新たに付加できることがあれば、書く。 ・感想を言ったり質問をしたりする。 ・質問に答える。	・書いてあることをつなげて 読むようにさせる。 ・興味をもって、話を聞くよ うにさせる。 ☆感想を言ったり質問をし たりしているか。
振 り 返 り 10分	4. 本時の学習を振り返る。 ・お家の人、お仕事を頑張っているんだな。	・発表者と保護者の仕事を板 書しておき、それを参考に させる。 ・振り返りの視点(心に残っ たこと、思ったこと)を提示 する。

(5) 評価

考えや思いを発表し、友だちの考えや思いを聞き感想を言ったり質問をしたりして、

考えや考えや思いを広げることができたか。

(6) 板書計画

めあて	おうちの人のしごとについて考えや思いをはっぴょうしよう。 かんそうを言ったり、しつもんをしたりしよう。 ・3の声ではっぴょうする。 ・大切なことをおとさないように聞く。	
発表者の名前	保護者の仕事	
〇〇〇〇	□□□□□	
〇〇〇〇	□□□□□	
・	・	
・	・	

7. 振り返り 児童の記述

- ・〇〇さんのお父さんは、お庭を作るなんてすごいです。
- ・〇〇さんのお母さんは、すごいですね。
- ・〇〇さんのお父さんはすごいなと思います。
- ・みんなのお父さんとお母さんとおじいちゃんはすごいと思います。
- ・〇〇さんのお父さんが道路を造ると初めて知りました。
- ・みんなすごいと思いました。
- ・〇〇さんのお母さんは、ちっちゃい子がいるのにぶどうを育ててすごいなと思いました。
- ・〇〇さんのお父さんとお母さんがぶどうを作っているとは知りませんでした。今度、お家に行つてぶどうをあげたいです。
- ・〇〇さんのお父さんがカッコいいです。
- ・〇〇さんのお父さんは力持ちですごいですね。
- ・〇〇さんのお母さんの仕事がトラックで生豆を横浜から運んでいるのがすごいなと思いました。
- ・〇〇さんの仕事がすごいなと思いました。
- ・〇〇さんのお父さんの薬がすぐ効くのがすごいと思います。
- ・みんなのお父さんやお母さんのお仕事はそれぞれ違うところがいいと思います。
- ・みんなのお家の人は頑張っていてすごいです。
- ・〇〇さんのお母さんに負けたくないです。
- ・〇〇さんのお父さんが12時間働いているということが心に残りました。
- ・〇〇さんのお父さんがお医者さんですごいなと思いました。
- ・〇〇さんのお母さんが都留市でぶどうを売っていて遠いのにすごいなと思います。
- ・〇〇さんのお父さんがとうもろこしを育てていてすごいと思いました。
- ・〇〇さんのお父さんは、僕に注射したとき痛くなかったのですすごいですね。

8. 資料

(1) 学年便りに載せたお願い

◇◇生活科についてお願い◇◇

「発見！町へとびだそう」教科書P2-19 について

1学期に、町探検をしました。地域の施設やお店、人々について調べたり、関わったりすることを通して、地域に愛着を持って生活できるようにすることが、ねらいでした。2学期にも、町探検をします。

学習する中で、探検先で働く人の仕事について、少し知ることができました。

そこで、キャリア教育の一環として、子どもにとって一番身近な人（保護者）の仕事について知る学習を行います。実際に、お家の人が働いている様子をその現場で見たり、取材したりします。2学期にまとめの学習をします。

大変お手数をおかけし申し訳ないのですが、長期の休みとなる夏休み中に、ご都合をつけていただき、お子さんを職場へ連れて行き、見学（取材）させていただきたいです。

もし、職場へ学校からの文書が必要な場合は、小林までご連絡ください。学校長からの文書をお子さんに渡します。なお、その際には、どなた様宛に文書を作成すればよいのかもお教えいただけますとありがたいです。夏休み中の連絡は、小林の出勤日でないこともありますが、職員に伝えて頂ければ対応できます。宜しくお願いいたします。

(2) 保護者の勤務先へのお願い文書

平成29年7月19日

（会社・部署・上司等の名前） 様

甲州市立祝小学校
校長 筒井 好澄
(公印省略)

生活科学習「お家の人の仕事調べ」[キャリア教育の一環]に関するお願い

盛夏の候、(会社・部署・上司等の名前)様にはますますご壮健のこととお慶び申し上げます。

さて、祝小学校では、2年生の生活科学習[キャリア教育の一環]として「お家の人の仕事調べ」を計画しております。児童が、自分にとって一番身近な人(保護者)の仕事について知る学習です。実際に、保護者が働いている様子をその現場で見学・取材します。見学・取材を通して、2年生なりに働くことについて知り、家族・地域への親しみや愛着を育んだり、働くことの意義・勤労の貴さを感じたりすることをねらいとしております。

つきましては、ご繁忙の折り恐縮に存じますが、つぎにより貴所で働く(保護者の名前)様の様子を見学・取材させていただきたくお願い申し上げます。

マナーなどは、事前に十分指導いたしますが、万一学習中に失礼な行動をとったり、お仕事の邪魔をしたりしたときには、ご指導いただけますと大変ありがたいです。

保護者の働く姿を知ることを通して、児童が健やかに成長し、働くことの意義・勤労の貴さに目を向ける大切な機会にしたいと考えております。

趣旨をご理解の上、どうかご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

- 1 期 日 平成29年7月22日～8月24日のご都合のよい日
- 2 日 程 ご都合のよい時間帯
- 3 訪問人員 (児童の名前)
- 4 その他 ご不明な点等ございましたら、担当[本校第2学年担任・小林淳子
TEL 44-0179]まで、お手数ですがご連絡いただけますと
ありがたいです。

担 当
祝小学校
第2学年担任 小林淳子
TEL 44-0179

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のしごとしらべカード(しゅざいカード)

〈おうちの人のはたらくところに行ったら〉

こんにちは。わたし(ぼく)は、いわい小学校の2年生()です。きょうは、おうちの人のしごとしらべで おせわになります。どうぞよろしくおねがいします。

まずさいしょに、()のはたらいているところを見学させてください。しごとのせつめいをしてもらったり、しつもんにとたえてもらったりします。おしごとのじゃまにならないように、しっかり学しゅうします。

〈おうちの人のはたらくようすを見学したり、しゅざいしたりする〉

〈見学やしゅざいが、おわったら〉

きょうは、おいそがしい中、どうもありがとうございました。とてもよい学しゅうになり、よいおもい出になりました。一ばん心にのこったことは、()

です。

これからもよろしくおねがいします。

※トイレに行きたかったら、トイレをかりる。おうちの人の言う通りにうごく。

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとしらべカード(しゅざいカード)

〈しつもん と こたえ〉

しつもん

こたえ

しつもん	こたえ

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとしらべカード(しゅざいカード)

〈見つけたこと(絵でも文でもよい)〉

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとしらべカード(しゅざいカード)

〈聞いたお話〉

(4) 2学期ワークシート (8/28, 8/29)

1 ページ目

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとをしらべたよカード

のしごとは

です。

〈ここにのこったこと・思ったこと・がんばっていたこと〉

1
2

〈気づいたこと・わかったこと・はじめて知ったこと〉

1
2

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のしごとをしらべたよカード

〈すごいこと・じまんでできること〉

1
2

〈もっと知りたいこと〉

1
2

(5) 2学期ワークシート (8/30, 9/5)

1 ページ目

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとをしらべたよカード

ともだちのおうちの人のごとについてのはっぴょうを聞いて、〈ここにのこったこと・思ったこと〉 8/30

いわい小学校 2年 名前()

おうちの人のごとをしらべたよカード

ともだちのおうちの人のごとについてのはっぴょうを
聞いて、〈こころにのこったこと・思ったこと〉 9/5

9. 授業後の研究会

(授業者から)

- ・発表順を子どもが進んで決めたり，感想や質問も進んでするように授業を進めた。
- ・発表の仕方については，1学期に取り組んだことを確認しながら授業を行った。
- ・児童には「保護者が仕事をがんばっている」ことを各自感じてほしい。

(参観者から)

- ・聞くときは聞き，発言すべき時にはしっかり挙手しているが，どのように指導しているのか。
 - ＞ 国語の題材で意見を発表することについて学習したが，それを普段の生活にも生かしている。音楽の時間で感想を言う場を設定するなど他教科でも意見発表をさせている。
- ・発表の際，自分も発表したいのだが，周りの様子を見て自分の発表を後にするなど周りを気遣う児童がいた。その子の発表は大変上手だった。
- ・授業内での礼儀がきちんとできていた。
- ・主体的に話すことが小2とは思えない。
- ・担任が最小限のフォローで子どもたちが考えて発表しきるところがよい。
- ・子どもたちがプリントのマスいっぱい大きく丁寧に字を書いていた。
- ・子どもたちが先生の指示をよく聞いて，落ち着いて発表していた。
- ・前に出て発表する際の「話すスピード」「口調」「明瞭さ」が適切だった。
- ・国語の時間と生活科を関連させた教科横断的な取組，保護者へ協力を求め，社会に開かれた教育課程など，カリキュラムマネジメントが具現化された授業だった。

(講師からの指導，助言)

- ・小中9年間を見通して小学校での教育の成果が中学校で伸ばせるように中学校でも小学校でどんな教育がされているのか積極的に交流すると良い。
- ・小2の子どもたちが静かに集中し，じっくり先生や友だちの発表を聞く態度がきちんとできていた。
- ・小・中の連携の大切さが言われている。この地域では中学校には4つの小学校が進学する。同じ中学校区の小学校同士が連携するなど，小・小の連携を視野に入れ，同じレベルで子どもを育ててほしい。
- ・教室の掲示物に関して，教室の前面がシンプルで特別支援の子どもたちが集中できるようユニバーサルデザインが考慮されていた。
- ・子どもたちが理解しやすいような言葉がけをしていた，
- ・発表の際の声の大きさに関して「発表は3の声で話さない」の指示があったが，日常から指導している場面に応じた音量の使い分けがよくなされていた。
- ・「大切なことを聞き逃さない」など，例を挙げた具体的な説明が子どもたちに有効であった。

キャリア教育への取組

山梨市立山梨北中学校

学校教育においては、時代の変化に力強く、かつ柔軟に対応し、主体的に生きることができる自立した社会人、職業人の育成を図ることが求められている。その基盤となる基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の育成のため、以下山梨北中で取り組んでいる。

1 小中、一貫した継続的な学習指導・生徒指導観の確立に向けた取組

小学校と中学校との間で継続的な指導観を確立するため、

- ①小学校と中学校の授業公開を年3回行い、教員相互の情報交換。
- ②出前授業：小学6年生を対象に英語の出前授業。（昨年 八幡小・岩手小・後屋敷小）
- ③中学説明会の際、5教科の体験授業。

2 小学校英語科と中学校英語科との連続性の確保

山梨市は英語教育特区の指定を受けている。英語科における系統的で連続した指導が行えるように小学校英語科のカリキュラム作りには中学校英語科教員も参加し、小学校での授業公開には全員参加する体制をとっている。

3 職業に関する指導の充実

進路指導に対しては進学指導に加え、職業に関する教育へ取り組んでいる。職業適性検査、職業調べ（1年）、職場体験（2年）等の体系的な指導を行っている。

4 地域社会・保護者との連携

地区生徒会を組織し、地域行事に積極的に関わる体制の支援を行っている。

小中学生がともに参加しているもの

- （夏）ラジオ体操、地区の清掃活動、レクリエーション、ソフトバレーボール大会
- （秋）神社の秋祭りにて、子ども神輿への参加。
- （冬）お札づくり、きっかんじょ、おちょうや作り、どんど焼き、お天神講

5 学校内行事において

- ・3年生をリーダーにした各行事（校内陸技会、光輝祭体育の部、合唱コンクール）への全校縦割応援の取組。

6 教科（英語科での取組）

- ・コミュニケーションのための活動（インタビューテスト、リーディングテストの実施）
- ・ペア活動、グループ活動（同性、異性との活動。相手の活動に対するほめ言葉）
- ・授業と家庭学習との有機的な結びつけ（単語テストと単語練習） など

7 学校たより，学年たより，学級たよりでの啓発。

平成 29 年度キャリア教育のとりくみについて

山梨南中学校 矢澤 恵美子

(1) 山梨南中学校の現状

- ① 全体計画に基づき，各学年のキャリア教育推進につとめている。
 - ・ 1 年生は，自分を知る・友だちを知る・私の夢・働くことの意義を知る。
 - ・ 2 年生は，働く意義・職場体験・上級学校について・進路と学習の見直し
 - ・ 3 年生は，進路決定に向けた諸準備・学校説明会・オープンスクール・主体的に進路決定を進める。
- ② 学校以外との連携
 - ・ 保護者に対して適性検査（P A S カード）の状況を資料にしなが， 3 者懇談の実施。
 - ・ 職場体験場所について，保護者に対して理解を求め斡旋していただく。
1 年次 P T A 学年総会の折，職場体験場所を探して頂く旨依頼する。2 学年になり，再び学年総会及びプリント配布し斡旋の依頼。
 - ・ 高校説明会の実施
近隣の公立高校を中心に，学校の特色や校風など説明して頂く。高校選択を視野に入れる動機付けとして実施する。
 - ・ キャリア講演会の開催（講師を招いて）
例 大学の就職担当の方に，就職に必要とされる資質の講演など
 - ・ 有価物回収事業
各家庭から古新聞・段ボール・雑誌・古着などを回収し，地域と協力しての勤労体験。
(全学年)
 - ・ 家庭科での保育・育児体験
近隣の保育園に協力を得て，園児と過ごす。特に自分で考えたおもちゃを持っていき，それを使って園児と遊ぶ。
 - ・ ネパールの中学生と交流
山梨市内の中学校で順番で受け入れる。
 - ・ 中学校説明会の折，小学生の体験授業を通しての交流。

(2) 課題

- ① 組織的・系統的なキャリア教育の推進に関して，より系統的な推進と各行事等の明確な関連を模索していく。
- ② 全教育活動を通じたキャリア教育の推進に関して，共通理解の確認

- ③ キャリア教育を推進するための、地域の産業や、保護者、学校の連携について、協力体制の確認

生徒会活動を通してのキャリア教育

山梨市立笛川中学校 武井善史

①縦割班活動（人間関係形成・社会形成能力）

笛川中は、現3年生から学年1クラスになり、現2年生が卒業すると全学年が単級となる。今後の活動を考え、少しずつクラス単位の活動から縦割り活動へ移行しつつある。そんな中で上級生がリーダーとなり多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えるとともに自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働する力を養いたい。（文科省 キャリア教育より抜粋）

今年度は、以下の内容をクラス単位から縦割り活動へ変えて活動している。縦割り班編制は、50名程度の平均と人間関係を考え、4グループで分けた。

- A 年2回全校レク（生徒会が立案し、7月と11月に実施。縦割り対抗の簡単なレク）
- ・今年度は、ネパールの交流団の訪問に合わせて学園祭でおこなう種目を簡単にしたものを縦割り活動で行った。1学期の間にリーダーとして3年生を活動させることができた。
- B 愛校作業（作業範囲をクラスではなく、縦割り毎で3年生の指示で活動）
- C 学習会
- ・定期テスト前に3年が1年に勉強方法や経験を発表
 - ・上級生が下級生の教室に行き、質問を受ける。
 - ・長期休業の学習は全学年同じ教室でおこなう。
- ・定期テスト前にどのようなことをすればよいかわからない1年生にとっては有意義な時間となった。また3年生も1年生に説明するために原稿作成や発表練習をする経験ができた。
 - ・特に夏季休業中は、多くの生徒が学習会に参加すると共に異年齢集団での学習になるので私語も少なく緊張感を持って学習することができた。
- D 陸上記録会 今まではクラス対抗で行っていたが、縦割り対抗で行った。
- E 学園祭
- ・体育の活動は全て縦割りとし、クラス対抗から縦割り対抗とした。
 - また応援合戦を加え、上級生が創作し、下級生に指導する活動を行っている。
- F 地域活動 学校行事に参加していただくことだけでなく、自分たちも地域行事に積極的に参加しようという呼びかけも行った。中学生がなかなか地域行事に参加しないという声が聞こえてくる中で今年度は夏季休業中に多くの生徒が地域行事に、積極的に参加することができた。

②N I E 活動（課題対応能力）

昨年度から正面玄関脇にN I E コーナーを設置し、3紙から4紙の新聞を生徒が購読できるようになっている。今年度は生徒会活動として、給食中に代表1名が新聞記事内容、記事から感じた感想等を放送で発表する活動を行っている。また発表原稿はN I E コーナーに掲示し、全校生徒から発表に対するコメントを書いてもらうこともおこなっている。1年間を通して、全校生徒が1回は全校放送で発表をおこなう経験をする。

この活動を通して、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力を養いたい。社会の情報化に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し活用する。具体的な要素としては、情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等が挙げられる。（文科省 キャリア教育より抜粋）

N I E 記事ワークシート（実際はA4） 裏には実際に使用した記事を貼る。

平成29年 月 日（ ）発表原稿
今日のN I E T I M E です。本日の担当は 年 組の です。
① 月 日 曜日の記事を紹介します。 <u>記事の要約を書く。</u>
②この記事を読んで、 私は という感想を持ちました。
③全校生徒からのコメント

その他

笛川中では、地域活動として3年前からブドウの笠かけを地域の協力をもらいながら、夏休み前に1日体験を行っている。また今年度から農地リフレと称し、市の青年会議所が進めている牧丘の耕作放棄地で荒れてしまった田畑を再生する活動に参加させていただいている。1学期には生徒会執行部、1年生が参加して地域の農業について考える機会を持った。2学期以降も2年生、3年生が活動を行い、ゆくゆくは再生した田畑で耕作ができるようにしていきたいというとりくみを行っている。

理科の授業を通してのキャリア教育の実践

甲州市立塩山中学校 小林 誠治

1 題材 「コンビニの定員になってみよう」

2 教材 単元1 運動とエネルギー

3章 仕事とエネルギー

1 仕事 A 仕事〔J〕とは…(力の大きさ〔N〕) × (力の向きに動かした距離〔m〕)

B 仕事の原理…道具を使っても仕事の大きさ〔J〕は変わらない

C 仕事率〔W〕…仕事〔J〕 / 仕事に要した時間〔s〕

1秒〔s〕あたりにおこなう仕事の大きさ〔w〕

3 展開

	生徒の活動	教師の支援	備考
導入	<p>本時のめあての確認</p> <p>学習内容の復習</p> <p>仕事</p> <p>仕事の原理</p> <p>キーワード「仕事率」</p>	<p>1 本時のめあての提示</p> <p>めあて「コンビニの定員になって仕事をしよう」</p> <p>板書</p> <p>仕事〔J〕 = (力の大きさ〔N〕) × (力の向きに動かした距離〔m〕)</p> <p>仕事の原理…道具を使っても仕事の大きさ〔J〕は変わらない。</p> <p>キーワードの提示</p> <p>「仕事率」</p>	
展開	<p>実験内容の確認</p> <p>コンビニ店員の仕事について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数で、店の多くの仕事をおこなうために一つの技とは速くおこなう ・陳列の際の見た目 ・商品なので丁寧に扱う… 	<p>2 実験内容の提示</p> <p>「500mlPET ボトル 24本を高さ1mの棚上に並べよう」</p> <p>○コンビニ店員の仕事に確認</p> <p>何に配慮することが大切か</p>	<p>実験…</p> <p>床の上に箱に並べた500mlのPETボトルを1m上の机に置いたフタの上に如何に早く丁寧に並べる。</p>

	作戦を立てる 実験する	<ul style="list-style-type: none"> ・何本ずつ持つかは自由 ・商品だということを意識 ・時間を計る 	
ま と め	<p>仕事の原理</p> <p>仕事の大きさ… $500\text{g} = 5\text{ N}$ より</p> $= 5\text{ [N]} \times 1\text{ [m]} \times 24\text{ [本]}$ $= 120\text{ [J]}$ <p>仕事率 $[W] = \text{仕事 [J]} / \text{秒 [s]}$</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位は $[W]$, 時間は $[s]$ を理解する ・電流で使った単位との関わりについて気付く <p>◎これだけが店員の仕事でないことを確認する。</p> <p>◎ディスカウントストアや、ドラッグストアなど陳列方法の違いに気づき、その理由について考える</p>	<p>3 仕事の原理の確認</p> <p>○仕事の大きさは変わらないがかかる時間がちがうことを理解する</p> <p>◎1秒あたりにおこなう仕事の大きさを「仕事率」という。 …公式の提示</p> <p>4 次時の学習について</p>	500ml の PET ボトルの重さを 500g とする

4 学習のまとめと課題

- 何本ずつ運べるか確認し、シュミレーションしながら実験に望んでいた。
- やりながら、「こんなことしているところ無いよね。」とか、「箱ごと運んだらいいじゃん」など、だんだん面倒になる生徒や、慌てて落として「商品だぞ！」と指摘される生徒もいた。そんなところから、ドラッグストアやディスカウントストア、ホームセンターなどの陳列の工夫について考える場面も持てた。また、情報番組でコンビニの合併による教育マニュアルの一本化の苦労について行っていたが、そんな情報も与えられる場面も持てると、生徒の仕事に対する考え方も変わっていくと思われる。
- 今回の授業のように、学習していくことと直接的ではないが、キャリア教育に結びつく内容はまだまだあると考えられる。それが、学習の仕方によって生徒の意識もまた相乗的に深められると思われるので、吟味しながら授業に取り組んでみたい。

3 学年「総合的な学習」の時間

3 学年テーマ「地域に生きる」施設訪問活動実施要項

甲州市立塩山北中学校 3 学年

1 目的

- (1) 施設訪問の企画・運営を通して、「地域に生きる」ひとりの人間としての自覚を深める。
- (2) 入所者とのふれあいを通して、思いやりやいたわりなどの心情を深化させる。
- (3) 塩山北中の「合唱活動」を継続・発展させる。
- (4) よりよい人間関係を築きながら、自分の良さに気づき、夢と希望のある生活や将来を作り出そうとする態度や意欲を育成する。

2 訪問施設

- 社会福祉法人 小田原福祉会 ケアハウス サンリバー塩山
甲州市塩山下小田原 5 8 4-8 TEL 3 3-7 7 3 3
- 社会福祉法人 延命福祉会 特別養護老人ホーム 緑風苑
甲州市塩山下於曾 1 2 5 6 TEL 3 2-4 1 6 5

3 内容 グループで考えた「入所者とのふれあい企画」

- 歌でのふれあい（合唱曲、童謡その他）
- ゲームでのふれあい（ボール遊び、手遊び、甲州カルタ など）
- 折り紙
- 呼びかけ など

4 日程及び利用する交通機関

実施日 平成 2 9 年 1 1 月 1 6 日（木） 5・6 校時の「総合的な学習の時間」に実施

日程概要 13:25 庁用バスにて学校を出発
始めの会
14:00 活動開始
15:00 活動終了
終りの会
15:10 庁用バスにて施設出発

5 指導重点

- ①活動の目的や意義についての指導
- ②集団行動のマナーや訪問場所での礼儀・作法の学習および指導
- ③行き帰りの交通安全指導

6 実施学年及び参加生徒数 3 学年 男子 2 0 名 女子 1 4 名 計 3 4 名

7 持ち物 CD・デッキ・遊び道具, その他グループで考えた必需品

8 引率教職員 職・氏名及び役割

①責任者:校 長 広瀬 真次 [統括責任者]

②指 導:教 諭 三枝比出夫 (ケアハウス サンリバー塩山)

教 諭 横森 梨歌 (特別養護老人ホーム 緑風苑)

教 諭 小林 史奈 (ケアハウス サンリバー塩山)

③保 健:養護教諭 佐々木亜枝 [学校待機]

9 事前の計画

・ 8月中に訪問施設を決定する

・ 9月14日(木)5, 6校時総合学習 施設訪問活動実施要項説明

21日(木)5, 6校時総合学習 各グループごとのとりくみ

28日(木)5校時 総合学習 各グループごとのとりくみ

10月 5日(木)5, 6校時総合学習 各グループごとのとりくみ

26日(木)5, 6校時総合学習 各グループごとのとりくみ

11月 9日(木)6校時 総合学習 各グループごとのとりくみ

12月 7日(木)5, 6校時総合学習 とりくみの反省

キャリア教育への国語科でのとりくみ

松里中 依田 久幸

◎2年 「字のないはがき」向田邦子（光村教育図書）

- ・単元名 視点を変えて読んでみよう
- ・ねらい「筆者の文章をリライト（REWRITE）することで父親の心情に迫ろう」
- ・キャリア教育との関わり

この文章は、外では保険会社の支店長を務めるほど外面はよいが、家では大酒を飲み、かんしゃくを起こして暴力をふるう暴君の父親を娘の視点から書いたものである。そんな父の「私」にあてた手紙、そして、妹の学童疎開に際して持たせたおびただしいはがきに込められた思い。照れ性で日頃は決して見せることがない優しさや子どもたちを心配する気持ちが、筆者の語り口でつぶられていく。言葉にできない思いや素直に言い表せない父親に心情を読み取ることで、自分の父親を思い浮かべることであろう。

本指導では、父親の立場になって、その人になりきってリライトする学習活動を取り入れる。父親の心情を生徒自身の言葉で書き加えたりすることで、「父親」という、生徒たちにとっては未経験の心情を体験させたい。立場を換えて物事を見たり、考えたりすることは日常生活でも不可欠であり、そのような概念がまだ形成されていない生徒もいる。主体的に生きることができる社会人、職業人の育成を図ることもつながっていく活動であると考えられる。

- ・言語活動について

ア 立場を換えて書く（リライト）

- （1）娘の立場から書かれた文章を父の立場から書き換える。→父親の心情を想像して読む。
- （2）自分の言葉で父親の心情を書き加える。→父親の心情を読み深める。
- （3）筆者の文章に書かれていることをもとに、「書かれていないこと」を想像して書き加える。→父やそれ以外の登場人物の言動や心情に変化にも着目した読みを深める。

イ 意見交流をおこなう。（省略）

- ・指導を終えて

立場を換えて、父親の言葉で書くことにより、大人、そして子をもつ父親の気持ちに迫ることができた。本校2学年のキャリア教育指導目標に、「自分の将来の生き方を様々な機会を通して考えさせ、進路に関する問題に対して、積極的に取り組む姿勢を養う」というものがある。中学2年生は、親を疎ましく感じ、反抗的になりがちな年代である。特に仕事人である父親とはほとんど言葉を交わさないという子も見られる。そんな父親も、表面には出さずとも、実は子どものことが心配でたまらないという気持ちでいたりする。自分も近い将来親になっていく。そのときにどうあるべきか、という考える機会になった活動であった。

大和中学校のキャリア教育

進路教育部会資料 甲州市立大和中学校

1 進路指導目標

- ・生徒が自らの生き方を探究し、将来への目的意識を持って、自分にふさわしい進路を選択決定できる能力や態度を育てる。
- ・望ましい学習・職業観のもとに進路を決定し、個性や能力を発揮して主体的・創造的に生きていくことができる能力を育成する。

2 生徒の実態

- ・基本的な生活習慣は概ね身につけているが、切磋琢磨しながら自己を向上させていこうとする姿勢や、他者の気持ちを理解して思いやりを持って接するという姿勢にやや欠ける。さらに、自分の考えを他に伝えたり表現したりする能力に欠け、主体的に判断し行動するという点にも課題がある。

3 指導の方針

- ・全教育活動を通して、将来に対する目的意識の育成をはかる。
- ・3年間を見通した計画で組織的・継続的な指導に努める。
- ・保護者と地域社会の協力を得て、効果的な進路指導をおこなう。

4 各教科・領域等での進路指導の目標

進路指導の目標	
教科	・生徒一人一人が、基礎的・基本的な内容を確実に身につけられるようにするための指導計画の工夫と、個に応じた指導を充実し、生徒が主体的に学ぶ態度を育てる。
総合	・職業に関する基礎的な知識や技能の習得をはかる。
道徳	・自ら課題を設定し、問題解決的な資質能力を十分に発揮して課題に取り組む学習活動を通じて、問題解決的な資質と力を一層高める。 ・人間尊重の精神を基盤に、生命の尊さを自覚させ、自他の生命を尊重できる生徒育成をはかりながら、望ましい勤労観・職業観・人生観を育てる。 ・地域社会との連携をはかりながら、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てる。
学級活動	・学校生活の諸問題の解決にあたって、生徒の自主的・実践的態度を養う中で、問題解決や自己指導の能力について理解を深め、将来の生き方を考えようとする意欲と態度を育てる。
生徒会活動	・学習意欲の高揚と心身の健全な育成をはかることにより、自己の個性の理解と将来の進路を主体的に選択させ、自己を生かす能力を養う。 ・生徒が相互に協力し、自主的・実践的に活動する態度を養い、自主的な実践活動を通して自己理解を深めるとともに、自己の能力や個性を開発し、集団の発展に寄与する心、勤労を尊ぶ態度を育てる。
学校行事	・自主的な選択と前向きな活動を通して、心豊かな生活を築こうとする態度を育てる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な参加を通して、調和のとれた人間関係と心身の健全な発達をめざし、学校生活に秩序と変化を与える。 ・自主的・実践的な活動を通して、能力・個性を伸ばし、自己実現に向けて向上する態度を育てる。 ・啓発的体験活動を通して、職業や進路についての理解をより確かなものにする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・集団への所属感・連帯感を育てる。 ・将来の生活に理想を抱き、自らの意志と責任で進路を選択・決定できるよう、保護者や地域社会との連携をはかる。

5 各学年の内容

月	指導事項・内容等		
	1年	2年	3年
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の組織と自分の役割 ・なぜ学ぶのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで伸びる学級づくり ・自分を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の実現に向けて
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ人は学ぶのか ・職業調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を考えよう ・生き方について考えよう
6	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を大切に (自分の夢や希望と3年間の進路学習の意味と内容について) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業調べ発表会 ・職業調べのまとめ ・職場体験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活設計について考える ・進路希望先を調べる(高校調べ)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の説明会やオープンスクールへの参加
8	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に前向きに取り組む(学園祭のとりくみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の説明会やオープンスクールへの参加
9	<ul style="list-style-type: none"> ・行事への挑戦 ・働く意義 職業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験のレポートづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出に残る行事にしよう (3年生としての学校行事の意義を理解し、主体的に取り組む姿勢を持つ)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・働く意義 職業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の発表会の実施 ・職場体験のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定に向けて ・自分に合った進路先を選ぼう (自分を理解して、進路選択に生かし、その選択に合った進路先を選ぶ)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で自分を活かす (学校生活を見つめ、自分を見つめ、自己の特色を知り、集団の中で特色を活かすようにする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分について考える (自己を知り、集団の中で気持ちよく生きることができるようになる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての自分を考える
12		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙へのとりくみ (リーダーとしての自覚を持つ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路の最終決定に向けて ・進路へ向けての道のり
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生き方いろいろ (人生を考える視点を知り、人生 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路を考える ・上級学校についての理解と関心 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の道を切り拓く(進路決定への最終的な準備を整える)

	を前向きに生きる姿勢を持つ)	を高める	
2	・将来の設計と進路の計画	・適性を活かした進路を考える (将来の生き方・進路は自ら選ぶものであることを理解し、意欲を持つ)	・中学時代のまとめ (中学校時代を肯定的に振り返り、成長を自覚する) ・自分を信じる
3	・1年間の進路学習を踏まえ、現時点での将来設計と進路計画をつくる	・進路計画をつくる (今後の進路学習や、進路選択への意欲を高める) ・最上級生に向けて (3年生として、主体的に最後の1年を過ごそうとする意欲を持つ)	・夢に向かって (自分が過ごした中学3年間に自信を持ち、新たな生活への希望を持って生きる姿勢を養う)

平成29年度

職場体験実施要項

甲州市立大和中学校

1：目的

- ①職業に誇りと責任を持って働く人々に接することにより、勤労の尊さや意義を学ぶ。
- ②実際に職場で体験することにより、職業や仕事に関する知識や理解を深め、将来の職業選択に生かす。

2：日時・場所（今年度）

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ①ぶどうと桃の高野農園 | 8月2日・3日・4日 |
| ②甲州市大和デイサービスセンター | 8月7日・8日・9日 |
| ③山梨県立科学館 | 6月25日（事前打ち合わせ）
8月17日・18日・19日 |
| ④甲州市塩山消防署 | 8月2日・3日 |
| ⑤甲州市塩山市民病院 | 8月2日・3日 |

※実施事業所及び実施日（昨年度）

- | | |
|------------------|------------------------|
| ①株式会社 テレビ山梨(UTY) | 7月28日(木) |
| ②株式会社 FMふじやま | 7月30日(土)・8月3日(水)・6日(土) |
| ③JAフルーツ山梨勝沼支所 | 8月3日(水)・4日(木)・5日(金) |
| ④塩山市民病院 | 8月1日(月)・2日(火) |
| ⑤株式会社 石友 | 8月1日(月)・2日(火)・3日(水) |
| ⑥ワークコート大和 | 8月1日(月)・2日(火)・3日(水) |
| ⑦甲州市立塩山図書館 | 8月3日(水)・4日(木) |
| ⑧甲州市立大和保育所 | 8月2日(火)・3日(水)・5日(金) |

3：宿場体験学習の流れ

- ①事前学習
 - ・職業調べ ・プレゼンテーション ・電話対応
- ②体験学習

- ・それぞれの場所で体験

③事後学習

- ・お礼の手紙
- ・事業所アンケート
- ・プレゼンテーション

4：安全対策

- ・事業所には生徒保護者名，自宅電話番号，学校電話番号，2学年主任名を依頼書とともに連絡する。
- ・2学年担当職員で一回は事業所を訪問して状況を把握する。
- ・しおりを基に，事前学習をおこなう。

5：反省点

職業に誇りをと責任をもって働く人々に接することにより，勤労の尊さや意義を学ぶ機会と

することができた。

実際に職場で体験することにより，職業や仕事に関する知識や理解を深めることができた。

■実施日数が昨年度の2日間から3日間に増やしてお願いしたのだが，事業所によっては3日間だと受け入れに難色を示す所もあり，行政や公的機関からの働きかけも，今後さらに日数を増やしていくのであれば必要になってくるのではないかと感じた。

キャリア教育の視点を取り入れた英語授業

勝沼中学校 辻 純 二

Unit 0 Countries around the World

カナダ

社会の学習との関連を図り、興味のある国について紹介する文を作る。

Unit 1 Pop Culture Then and Now

ゴッホ、歌川広重、

フェルメールの作品に見られる日本文化

モネの作品に見られる日本庭園的な要素

藤切りまつり事前指導で歌川広重の藤を描いた作品を取り上げるなど、

日常生活と学習内容との関連を持たせる工夫をしている。

Presentation 1 日本文化紹介

自分の興味や関心にもとづいて紹介内容を決定して表現する。

Unit 2 From the Other Side of the Earth

アマゾン川と熱帯雨林の恩恵と環境問題

環境問題を考える機会とする。

Unit 3 Fair Trade Event

フェアトレードのしくみと意義

学校に通うことができない環境にある生徒について感じたことを表現する。

Presentation 3 修学旅行

修学旅行のできごとや学んだことを表現する。

Let's Read 1 A Mother's Lullaby

ヒロシマの原爆のことが取り上げられているので関連して以下の内容を扱う

杉原千畝 暗唱大会課題文

近衛秀麿 ドイツからのユダヤ人の亡命を手助けした指揮者

イサム・ノグチ 平和記念公園モニュメントにデザインが不採用になった日系人

平和について考える機会とする。

Unit 4 To Our Future Generation

災害への備えと未来へ伝える大切さや、ヴァイオリン奏者ギトリスの活動他、被災者支援について自分の考えを表現する。

Unit 5 Living with Robots — For or Against

ロボットの進化と普及の利点と問題点

時代の変化に伴う生活や職業選択について理解する。

Unit 6 Striving for the Better World

アウンサンスーチーの半生と信念

伝統・文化の教育の研修先イングランドの学校訪問でも取り上げられていた

Presentation 3 中学校生活

中学校生活について振り返って、表現する機会とする

Let's Read 2 The Green Door

Let's Read 3 An Artist in the Arctic

甲州市立勝沼中学校 3年英語科 指導案

指導者 教諭 辻 純二

1 題材名

NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍)

Unit 6 Striving for the Better World

Presentation 3 中学校生活

Let's Read 3 An Artist in the Arctic

2 題材設定の理由

2学期の学習において、Unit 6 Striving for the Better WorldのStarting Outでは、ノーベル平和賞受賞者が取り上げられている。その中でもアウンサンスーチー氏に重点が置かれ、民主主義と人権のためにミャンマーの軍事政権と戦ったことが描かれている。これまでにLET'S READ 1 A Mother's Lullabyで広島戦争のこと、暗唱大会課題文「杉原千畝」においてユダヤ人を救った日本人、他の例として戦時中ドイツでも指揮活動を行った近衛秀麿（近衛文麿の弟）のことなども取り上げ、人としての生き方について考える機会を設けてきた。

今回、Let's Read 3は、写真家 星野道夫さんの大学時代における写真との出会い、アラスカとの出会いや、その後の行動生き方をおして、人生における転機や生き方について考えたり、自然や暮らしについて考えたりするのに適した内容である。大学時代の転機、その後の生活における変化と現在の状況を読み取る活動を通して、興味・関心をもったことへのとりくみ方、人との出会いの大切さ、信念を貫くことの意義を感じ取らせ、自分の将来を考えたり、生活の改善を図ったりすることができるとりくみとしたい。様々な境遇の中で人生設計していることを知り、進路決定に向けて自己の生活について見つめ直す機会となるように本題材を設定した。

LET'S READ 3には、新出の言語材料はなく、中学校3年間で学習した内容を総復習する点から言語材料を扱い、自己表現力の向上につながるように指導するとともに。既習語が新しい意味で使われている際の対応方法も含め指導していきたい。

3 生徒の実態（一部のみ）

<人間関係形成・社会形成能力>

様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む力はある程度ついているが、自己の個性を発揮する、自己を表現するとなると消極的である。

<自己理解・自己管理能力>

学習に関しては苦手意識があつて家庭学習の時間が十分にとれていない生徒もいる。暗唱や辞書を活用して、表現や語彙の習得のとりくみに変化が見られている生徒もいる。

<課題対応能力>

課題認識能力が高いとはいえない面があり、課題へのとりくみが不十分な生徒もいる。課題を捉えていても具体的な解決方法を考えて実行することはできない意志決定能力のな

さも見受けられる。

<キャリアプランニング能力>

高校進学までは考えていても、将来の職業となると明確な目標や夢を表現できる生徒は少ない。また、現時点では行きたい高校を決めかねている生徒もいる。

4 指導計画

次	内容	評価
1	概要理解 音読練習	人生におけるターニングポイントを確認しながら、概要が整理できる。
2	内容理解 文章構造をグループごとに確認する。	文章構造を意識して内容を理解することができる。
3	内容理解 文章構造について全体で確認する。	文章構造を理解することができる。
4	内容確認 TF Q&A 単元プリント	読み取れている内容を伝えることができる。
5	音読チェック① ワークシート 65 66	内容が伝わるように音読することができる。
6	音読チェック② ワークシート 67 68	内容が伝わるように音読することができる。
7	星野道夫の人生を参考にして、自分の人生についての考えを書く。	読んだ文章を参考にしながら、自分の人生について考えをまとめて書くことができる。
8	自分の人生設計について発表する。 仲間の人生設計を聞き、理解する。	相手に内容が伝わるように発表する。 発表者の内容について概要が理解できる。

5 本時の学習

(1) 日時：平成30年 月 日 () : ~ :

(2) 場所：甲州市立勝沼中学校 3年 組教室

(3) 学級：3年 組

(4) 本時の目標

・星野道夫さんの人生について読み取ったことを整理して確認することができる。

【人間関係形成・社会形成能力】「理解の能力（読む）」

・自分の今の生活や今後の生活について自分の考えをまとめて、英文にすることができる。

【自己理解能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力】「表現の能力（書く）」

(5) 本時の展開

	学習内容	生徒の活動	評価
導入	<p>今日の課題について、確認する。</p> <p>・授業の進め方についての説明 (星野道夫さんの文章における表現を 生かしての自己表現)</p>	<p>・授業内容を確認する。</p>	<p>[2分]</p>
展開	<p>星野道夫さんの人生を整理して確認する。</p> <p>・(前時に) 星野道夫さんの人生について整理したものを全体で確認</p>	<p>・表にまとめたものをもとに確認する。【全体】</p>	<p>・表をもとに内容を確認することができる。 [8分]</p>
	<p>自分が興味・関心をもっていること(好きなこと)とこれからどう取り組もうとしているか(転機、夢などを含む)をメモする。</p> <p>・興味・関心があること(好きなこと)の整理 ・どう取り組んでいるか、これからどう取り組もうとしているかについての整理 (夢やモットーなどを含む)</p>	<p>・興味・関心があること(好きなこと)をメモとして書く。 【個人】 ・どう取り組んでいるか、これからどう取り組もうとしているかについてメモとして書く。 【個人】</p>	<p>自分の生活について考えてメモにすることができる。 [15分]</p>
	<p>メモをもとに、今までの転機やこれからの人生設計について英文で表現する。</p> <p>・英文にする指示 ・表現がわからないときの対処方法(援助要請)についての確認 (書き終えたら) ・発表に向けての練習</p>	<p>・表現がわからないものについては、 ① 辞書で調べる。 ② グループ内で質問し合う。 ③ 教師に質問する。 【個人・グループ】 ・書き終えたら練習する。</p>	<p>英文で表現することができる。 [20分]</p>
まとめ	<p>・表現上留意すべき点についての確認</p>	<p>・表現について質問がある場合には質問する。</p>	<p>[5分]</p>